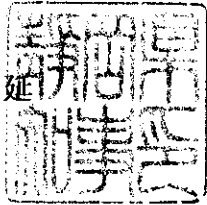


道 企 第 66 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

静岡県知事 石 川 嘉 延



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号による標記の依頼については、別添様式  
1～4のとおり回答する。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県

- 変化の激しい時代において、道路の中期計画の計画期間を10年から5年にしたことは、適切と考える。  
ただし、道路計画は、整備のあり方について過去を検証し、未来に向かい議論・合意形成して策定すべきであり、現在のような厳しい財政状況の時代にこそ、必要な事業量を示すなどしっかりした計画案をもとに議論されたい。
- 本県の道路は、異常気象の際の通行止め回数が全国ワースト 3 位、県民一人当たりの渋滞損失時間が全国ワースト 6 位、交通事故発生件数が全国ワースト 4 位という状況となっており、道路整備に対するニーズも強い。生活道路や産業基盤としての基幹道路など、真に必要とする道路の整備箇所が、まだまだ多く存在する。道路特定財源の一般財源化にあたっては、安定的な道路整備の財源の確保を含めて、地方の道路整備が着実に推進される制度とされたい。
- 本県では、行政の生産性向上を目指して新公共経営に取り組んでおり、道路整備においても様々な成果が現れつつある。例えば、交差点の渋滞対策において、従来手法である右折レーンの設置に代えて、「左折+回転道路（設置）+直進」を採用した事例など、経済的にかつ早期に事業効果を発現する事例が数多くある。国におかれても、一層のコスト縮減に努められたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

静岡県

○現状

- ・静岡県の交通流動は、旅客・貨物ともに道路交通の比重が大きく、地域産業や県民生活、観光などと密接に結びついた道路は、重要な社会基盤となっている。
- ・しかしながら、県内の道路事情は、依然として高い人身交通事故発生率や深刻な交通渋滞、6割にも満たない低い道路改良率、災害等による通行止め回数などの多さなど、質・量ともに不十分な状況にある。さらに今後は、高度経済成長時代に大量に建設された道路施設の維持更新費用の大幅な拡大も見込まれている。

|               |                          |            |
|---------------|--------------------------|------------|
| 高規格幹線道路の整備率   | 42 % (H19)               | 全国ワースト 4 位 |
| 県民一人当たり渋滞損失時間 | 41.8h/年 (H14)            | 全国ワースト 6 位 |
| 異常気象による通行止め回数 | 1,010 回 (H16)            | 全国ワースト 3 位 |
| 人身交通事故発生件数(率) | 1,019 件/人口 10 万人・年 (H19) | 全国ワースト 4 位 |

○課題

- ・本県では、高規格幹線道路の IC 及び地域の中心都市へ 30 分で移動可能な道路網(静岡 30[サーティー]構想)を目指して、道路整備を進めているが、現況の 30 分行動圏人口カバー率は 86.7%であり、長期目標の 96.5%には達しておらず、引き続き道路交通ネットワークの整備が求められている。
- ・道路の交通渋滞、混雑の緩和・解消のために、交差点改良やバイパスの整備等が求められている。
- ・想定される東海地震の災害時の緊急輸送路として広域的な陸上輸送路の確保や、大雨による地域孤立防止対策の推進など、災害に強い信頼性の高い道路が求められている。
- ・道路交通事故が少ない安全な交通環境や、橋梁等の道路施設の予防保全を図る長寿命化など、誰もが安全に利用できる道路整備が求められている。
- ・県内の国道・県道の夜間騒音の環境基準達成率は 70%に留まっていることなどから、さらに良好な生活環境の確保や環境・景観に配慮したみちづくりが、求められている。

②-2 地域の目指すべき将来像

静岡県

道路整備の上位計画 「魅力ある “しずおか” 2010 年戦略プラン」 (静岡県総合計画)

後期 5 年計画期間：平成 18～平成 22 年度

○基本理念 「富国有徳 創知協働」の魅力ある地域づくり

○基本目標 豊かな快適空間と有徳の志が織り成す「魅力ある “しずおか”」の実現

・ 真に豊かで活力に満ち、個性が輝き、住む人も訪れる人も快適と感じる“快適空間”を実現しようとするもの。

・ 高い規範意識や精神文化に支えられ、豊かさを有意義に活用する活用することのできる“有徳の志”をもった地域を実現しようとするもの。

道路整備のビジョン (概ね 10 年間の道路整備の方向性、方針)

○基本理念 快適に人やものが行き交う地域づくりを支える道路を目指します。

○施策分類ごとのテーマ

産業・交流 : 産業の支援や交流の拡大を図る“しずおかのみち”

安心・安全 : 県民が安心・安全に暮らせる“しずおかのみち”

環 境 : 環境や景観に配慮した“しずおかのみち”

○施策分類ごとの評価指標

産業・交流 : 高規格幹線道路の供用率

県民 1 人当たり渋滞損失時間

中心都市等への行動圏域人口カバー率

安心・安全 : 緊急輸送道路の被害を受ける恐れの高い橋梁の耐震化率

地域の中心的な医療施設 30 分到達圏域人口カバー率

道路交通における死傷事故率

環 境 : 夜間騒音の環境基準達成率

幹線道路における無電柱化率

③道路施策の重点事項（代表事例、期待される効果や評価等）

静岡県

| ○重点事項                              | ○代表事例                                                                                                                                               | ○期待する効果や評価等<br>注) 中間目標値                                                                                                                                                                                   | ○その他         |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| (産業・交流)<br>国内交流ネットワークの構築           | 新東名、中部横断自動車道、伊豆縦貫自動車道等の高規格幹線道路<br>国道 1 号、246 号等の主要幹線道路<br>金谷御前崎連絡道路等の地域高規格道路                                                                        | 高規格幹線道路等の主要幹線道路の整備や渋滞対策等の交通円滑化を進めて、以下の目標を目指します。<br>高規格幹線道路の供用率 42.1% (H19) ⇒78.6% (H24)<br>県民 1 人当たり渋滞損失時間 37.2h (H18) ⇒1 割削減 (H23)<br>中心都市等への行動圏域人口カバー率 86.7% (H19) ⇒92.5% (H24)                         |              |
| (産業・交流)<br>産業活動や地域の生活を支援するみちづくり    | 大井川新橋（県道島田吉田線）<br>国道 135 号吉田～川奈拡幅 他                                                                                                                 | 〃                                                                                                                                                                                                         |              |
| (安心・安全)<br>災害に強く信頼性の高いみちづくり        | 国道 150 号太田川橋の耐震補強 他<br>緊急輸送路上の橋梁の耐震対策<br>国道 362 号青部バイパス 他<br>国道 135 号泉門川Ⅱ（熱海市泉門川）防災工事 他<br>大雨等による事前通行規制を緩和する地域の孤立防止対策<br>災害に強い道路とするために、道路防災や道路改良を推進 | 緊急輸送路上の橋梁の耐震対策や、地域の孤立防止対策、交通安全対策、長寿命化対策を進めて、以下の目標を目指します。<br>緊急輸送道路の被害を受ける恐れの高い橋梁の耐震化率※1 - % (H19) ⇒32.4% (H24)<br>地域の中心的な医療施設 30 分到達圏域人口カバー率 94.4% (H18) ⇒94.9% (H24)<br>道路交通における死傷事故率 146 件/億台キロ⇒（算定作業中） | ※1H20 からの新計画 |
| (安心・安全)<br>安全で誰もが快適なみちづくり          | 熱海函南線（熱海市水口）歩道整備<br>歩行者の安全を守るあんしん歩行エリア等の交通安全対策<br>島田金谷線大井川橋 他の長寿命化<br>利用者の安全とトータルコストの縮減を目指す道路施設長寿命化                                                 | 〃                                                                                                                                                                                                         |              |
| (環境)<br>良好な生活環境の確保や環境・景観に配慮したみちづくり | 藤枝大井川線（藤枝市田沼）舗装補修 他<br>騒音舗装等の身近な道路の環境改善<br>富士山スカイラインマイカー規制<br>国道 301 号（新井町新居）電線共同溝 他                                                                | 道路の環境改善等を進め、以下の目標を目指します。<br>夜間騒音の環境基準達成率 70% (H19) ⇒72% (H24)<br>幹線道路における無電中化率 7.6% (H19) ⇒8.2% (H20) ※2                                                                                                  | ※2 目標値算定中    |